

行政改革プラン2016

人口減少に伴う市税収入の減少や、公共施設の老朽化対応など、厳しい財政状況が見込まれる

《目標》

持続可能な財政基盤の確立：「財政の見通し」における令和3年度末の累積収支不足額約18億円の解消を目指す

⇒新たなごみ処理施設の整備にあわせて、収集運搬を含めたごみ処理やリサイクル事業のあり方などについて、歳入歳出両面から将来にわたって持続可能な仕組みづくりを検討する

課題

1. ごみ処理費用の増加

・人口減少とともにごみ量は年々減少しているが、焼却施設における保守管理費用等の増によりごみ処理費用は増加している

2. ごみの減量化やリサイクルが進んでいない

・広報紙やホームページなどで啓発に努めてきたが、一般廃棄物処理基本計画の目標値とのかい離が生じている

3. 収集作業員の確保

・休日が少ないなどの理由から、収集作業員として若年者が定着せず、将来的な収集業務体制の維持が困難になる恐れ

・ごみステーションが年々増加し、収集作業員の負担増の要因となっている

課題解決に向けた取り組み

①ごみの減量推進

⇒周知啓発の強化に加えて、本市のごみ排出実態を踏まえた減量策を実施

《効果》 ◎処理費用削減、○収集作業負担軽減

項目	方向性	実施済み	実施中・検討中
周知啓発	啓発方法や啓発内容の検討	広報むろらん6月号での特集、ホームページ更新（情報整理ほか）	LINE自動分別案内導入、出前講座実施
生ごみ	食品ロス削減への取り組み	道内他都市状況調査	生ごみ処理機等購入助成導入、食品ロス削減策（フードドライブなど）
古紙類	分別収集促進策の検討	集団回収団体募集、ホームページ更新（集団回収情報掲載）	資源回収団体不在地域での回収団体呼びかけ
小型家電	回収拠点の増設	街頭啓発での臨時回収所設置	高砂・水元地区へ回収ボックス増設
事業系ごみ	情報収集及び減量対策の検討	道内他都市状況調査	事業者アンケート ⇒ 減量対策

②既存事務事業の見直し

・**収集運搬業務の見直し** ⇒人口やごみ量データなどを基に、収集業務効率化に向けた収集地区再編等を実施

《効果》 ○処理費用削減、◎収集作業負担軽減

項目	方向性	実施済み	実施中・検討中
収集地区再編	収集地区の再編・統合		再編案作成中、事業者と協議を開始
収集頻度等の見直し	祝日の収集休み導入 ※危険ごみ区分新設	祝日の収集休み導入（一部）	見直し案作成中、事業者と協議予定 ※危険ごみ～R3.4分別収集開始に向け収集方法等検討中
ごみステーション集約	個人設置のごみステーション等集約 ※ごみ出し困難者への対応策検討		集約方針作成中、町内会等と協議予定

・**プラスチック製容器包装事業の見直し** ⇒費用対効果等の観点から事業の存廃を検討

※国による新たな区分「プラスチック資源」設置の動向を注視しながら、本市の収集運搬に関する状況を踏まえた検討が必要
(国：R2年度末までに開始時期や自治体の負担軽減策を検討)

●手数料の適正化

ごみの減量や収集運搬業務の効率化など、ごみ処理費用の削減に取り組んだうえで、手数料の適正化を検討する